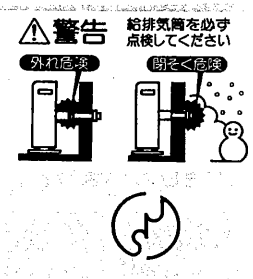
MITSUBISHI



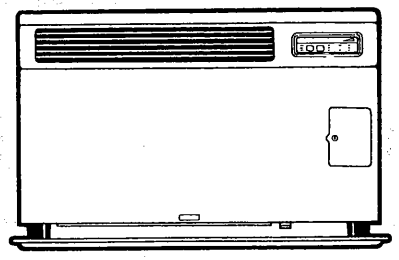
三菱〈密閉式石油ストーブ〉クリーンヒーター

VKB-1001B 2

取扱説明書

お客さま用

9706H870HJ1002



このたびは三菱クリーンヒーターをお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書は保証書と共に保存のうえ、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お役だてください。

三菱クリーンヒーターを廃棄処分される場合は、本体内の灯油を抜きとってから行ってください。

目次

		ページ
	1．特に注意していただきたいこと	1
	2．各部の名称	6
	3．使用前の準備	
	●燃料	9
	●給油	9
	●運転開始前の準備と確認	10
	4．使用方法	
基本の取扱い	●運転開始	11
基本の取扱い	●運転停止	12
基本の取扱い	●集中管理による運転	13
応用の取扱い	●室温の調節	14
応用の取扱い	●セーブ運転のしかた	15
応用の取扱い	●時刻合わせのしかた	16
応用の取扱い	●「点火タイマー」運転のしかた	17
応用の取扱い	●「点火タイマー」セット後に暖房したいとき	18
応用の取扱い	●毎日同時刻に「点火タイマー」運転するには	18
応用の取扱い	●「消火タイマー」運転のしかた	18
応用の取扱い	●消火するまでの時間を1時間から変えたいとき	19
応用の取扱い	●「点火タイマー」と「消火タイマー」を同時にセットするには	20
	5．安全装置	22
	6．その他の装置	23
	7．日常の点検・手入れ	24
	8．定期点検	27
	9．故障・異常の見分けかたと処置方法	28
	10．部品交換のしかた	30
	11．保管（長期間使用しない場合）	30
	12．仕様	31
	13．据付け工事の確認と試運転	33
	14．保証とアフターサービス	37

1 特に注意していただきたいこと(1)

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、つぎの表示で区分して説明しています。

⚠危険	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷に結びつくもの
⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

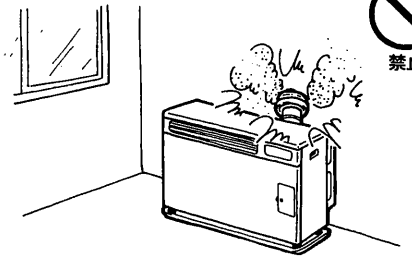
●図記号の意味は、次のとおりになっています。

	ガソリン使用禁止		指示に従い必ず行う
	禁止		電源プラグを抜く
	分解禁止		

⚠危険

室内排気厳禁

お客さまご自身では据付工事をしない



(異常燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になります)

⚠警告

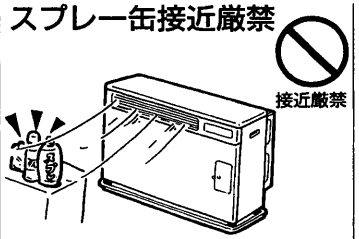
ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は使わない。

使用禁止

(火災の原因になります)

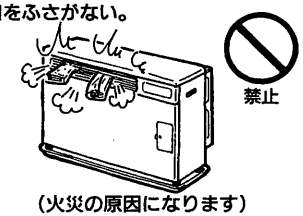
スプレー缶接近厳禁



(爆発の原因になります)

温風吹出口をふさがない

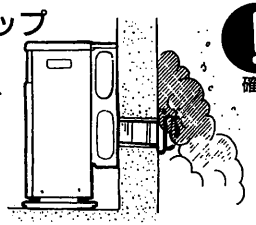
衣類・紙などで温風吹出口、空気取入口をふさがない。



(火災の原因になります)

給排気筒トップ閉そく危険

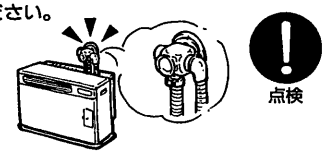
積雪の多いときは、給排気筒トップが雪でふさがれていないか確認し、ふさがれているときは除雪をしてください。



(排気ガスが室内にもれ、一酸化炭素中毒の原因になります)

はずれ危険

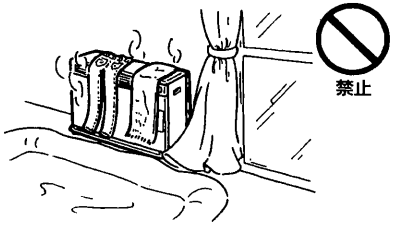
給排気筒(管・ホース)が正しく接続されているか点検してください。



(はずれていると運転中に排気ガスが室内にもれ、一酸化炭素中毒の原因になります)

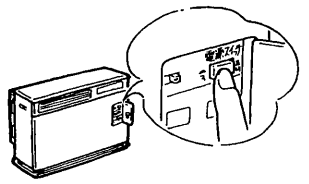
⚠注意

カーテン・可燃物近接禁止



(過熱により火災の原因になります)

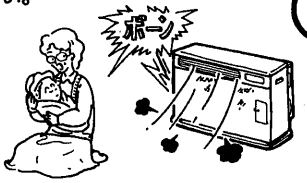
給油時消火



(火災の原因になります)

異常時使用禁止

万一異常を感じたときは、使用しないでください。



(異常燃焼のおそれがあります)

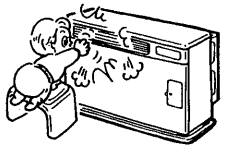
温風に直接あたらない

温風を長時間、直接身体にあてない。
お子さまや身体の不自由な方が使用になるときは、まわりのひとが注意してください。

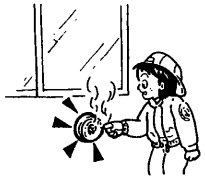
(低温やけど・脱水症状の原因になります)

高温部接触禁止

温風吹出口や給排気筒トップは燃焼中・停止直後は高温になっています。

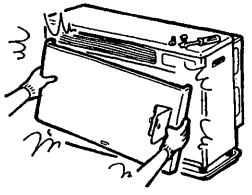


(やけどをします)



(やけどをします)

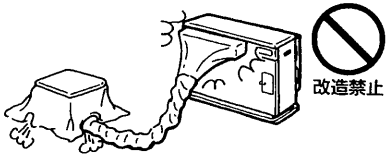
分解修理の禁止



(感電事故の原因になります)

改造使用の禁止

温風をダクトなどで、こたつへ引き込むなどの改造はしないでください。

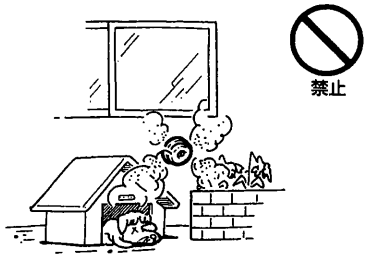


(火災や排気ガスが室内にもれる原因になります)

1 特に注意していただきたいこと(2)

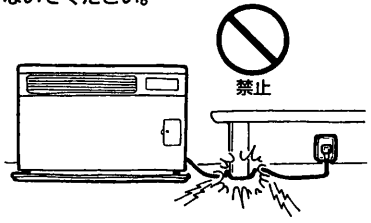
⚠注意

排気ガスに注意
愛がん動物や植木などに排気ガスをあてない。



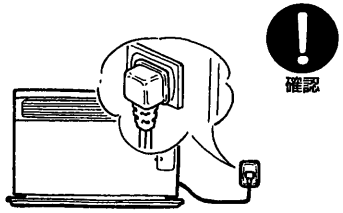
(動物が死んだり、植木が枯れる原因になります)

電源コードを傷めない
電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしないでください。また、コードを持って引き抜かないでください。



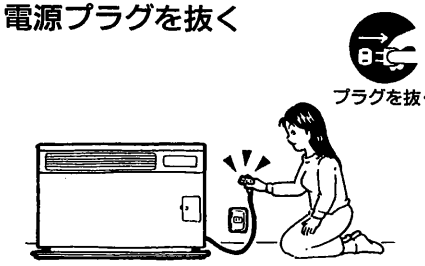
(火災や感電の原因になります)

電源プラグは確実に差し込む



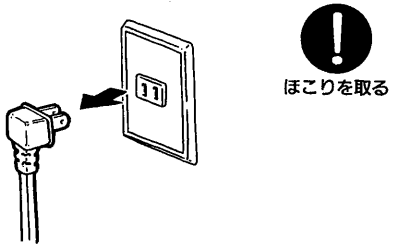
(火災の原因になります)

長期間使用しないときは電源プラグを抜く



(火災や予想しない事故の原因になります)

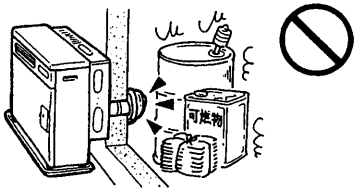
電源プラグのお手入れを
ときどき電源プラグを抜き、ほこり(および金属物)を除去してください。



(火災の原因になります)

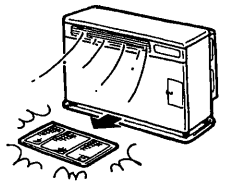
お願い

製品の周辺や給排気筒トップ周辺に可燃物を置かない



(過熱により火災の原因になります)

使用中にエアーフィルターをはずさない エアーフィルターをはずしたまま使用しない



(ほこりが機器内部に入り、故障の原因になります)

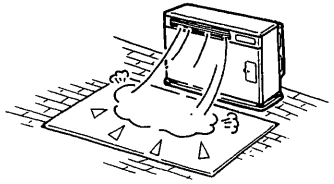
腰をかけたり、物をのせたり、強いショックをあたえない

(変形・故障・給排気部品のはずれる原因になります)

燃焼中は電源プラグを抜いたり、元電源(ブレーカー)を切らない

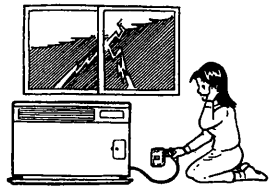
(余熱により故障する原因になります)

熱に弱い床面は保護する
熱に強いマット類を敷いてください。



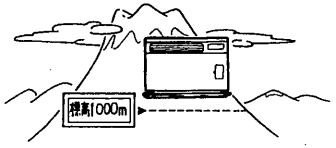
(床面が変色したりそりかえる)

雷のとき電源プラグを抜いてください



(故障するおそれがあります)

標高1000m以上の高地では使用しない

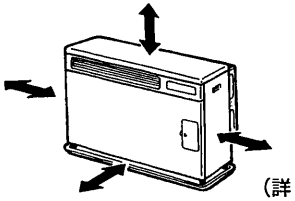


(不完全燃焼の原因になります)

1 特に注意していただきたいこと(3)

安全に使用するために

本体周辺の空間を確保する
(マントルピース内据付けについても空間を確保する)

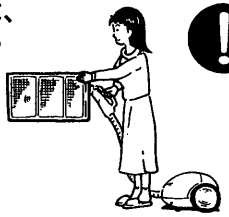


(詳しくは 34 ページ)

居室の暖房以外の用途で使用しない
次のような場所では使わない
- 乾燥室
- 温室
- 飼育室
- 化学薬品を使用する場所

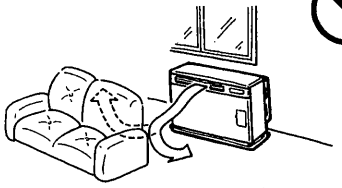
効果的に使用するために

エアーフィルターのお手入れは、こまめにする



(暖まりにくいうえに燃料がむだになります)

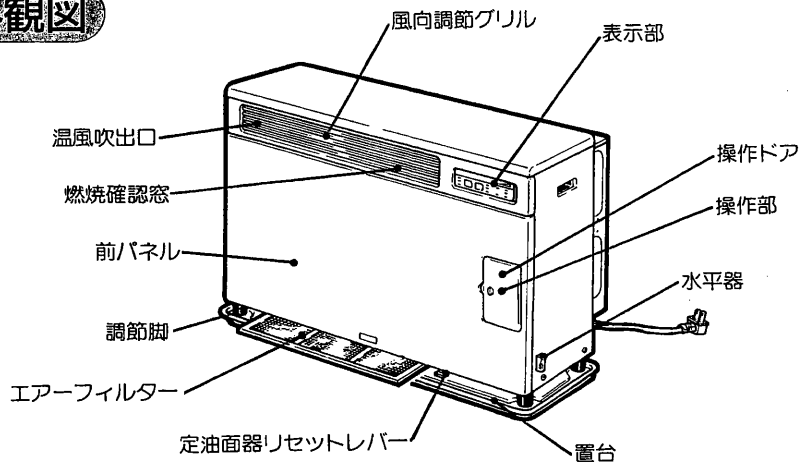
温風の循環を妨げない

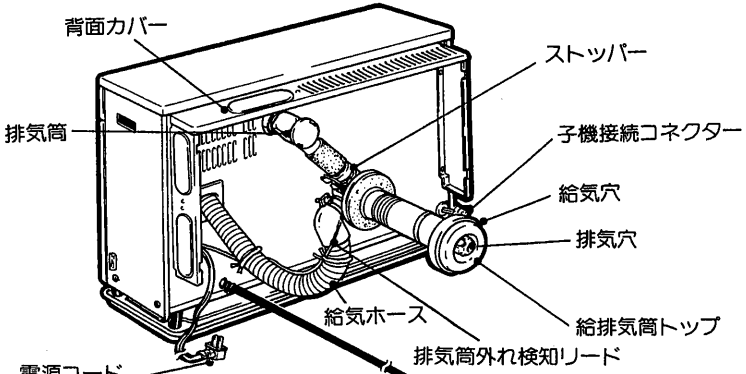


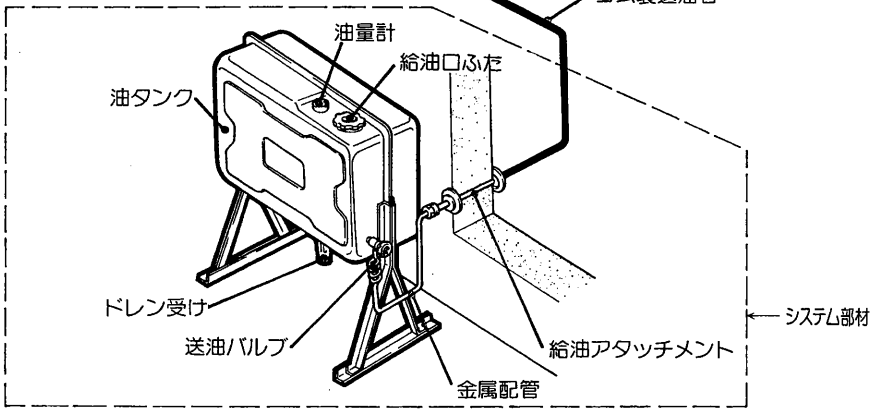
(均一に暖まりません)

2 各部の名称(1)

外観図

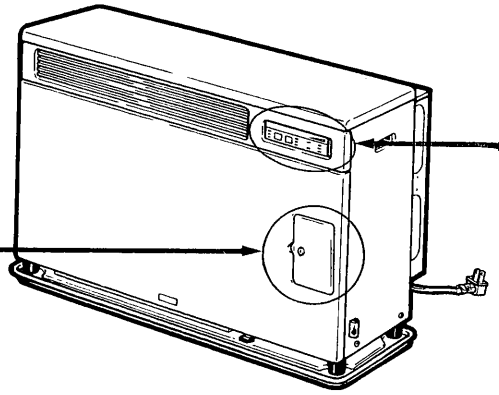






2 各部の名称(2)

操作部・表示部



操作部

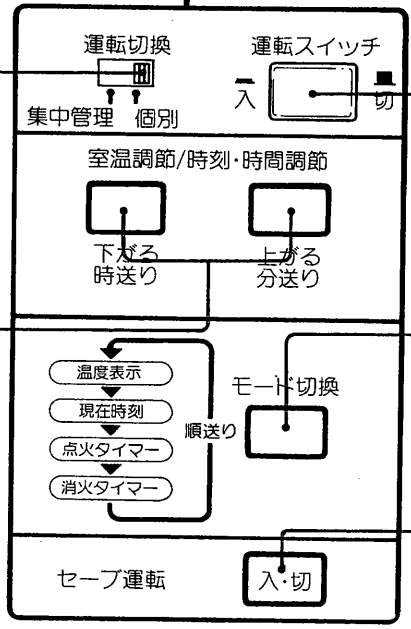
運転切換スイッチ
集中管理・個別の切換えに使う

運転スイッチ
運転開始および運転停止に使う

室温調節／時刻・時間調節ボタン
設定温度、現在時刻、点火タイマー、消火タイマーの設定に使う

モード切換ボタン
温度表示、現在時刻、点火タイマー、消火タイマーの切換えに使う
（点火タイマーと消火タイマーの同時運転もできます。）

セーブ運転ボタン
セーブ運転の入・切に使う



表示部

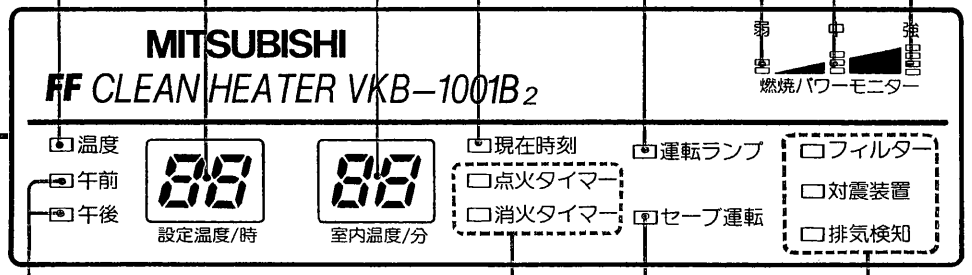
表 示 部
設定温度、室内温度、時・分を表示
また、異常のときは燃焼を停止し、エラーモード（故障・異常状態）を表示

温度ランプ
設定温度、室内温度を表示のとき点灯

現在時刻ランプ
時・分を表示のとき点灯

運転ランプ
運転中点灯

燃焼パワーモニターランプ
点灯：3個点灯 強運転中
2個点灯 中運転中
1個点灯 弱運転中



午前、午後ランプ
午前、午後を表示

点火タイマーランプ
点火タイマー運転中点灯

消火タイマーランプ
消火タイマー運転中点灯

セーブ運転ランプ
セーブ運転中点灯

対震装置ランプ	フィルターランプ	排気検知ランプ
装置作動時、ブザーを鳴らして燃焼を停止しランプが点滅	エアーフィルター目づまりのときにランプが点滅 エアーフィルターを清掃せず、そのまま使用するとブザーを鳴らして燃焼を停止	排気筒が外れたとき、ブザーを鳴らして燃焼を停止しランプが点滅

3 使用前の準備

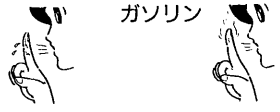
燃料

▣必ずJIS1号灯油を使う

ガソリン、変質灯油、不純灯油などは、絶対に使用しないでください。

灯油とガソリンの見分けかた

指先につけて息をふきかけます。
(火の気のない所でしてください)



■変質灯油とは

- ●ポリタンクで昨シーズンより持ち越したもの。
- ●日光のあたる場所で長期間保管したもの。
- ●温度が高い場所で長期間保管したもの。

見分けかた

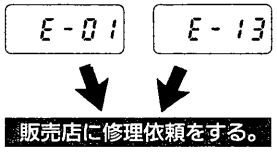
水よりも色がついていたら変質灯油です。
変質のひどいものは、黄色みを帯びたり、すっぱい臭いがします。

■不純灯油とは

- ●水やごみが混入したもの。
- ●灯油以外の油(天ぷら油、機械油、ガソリン等)が混入したもの。
- ●助燃剤等が混入したもの。

■誤って変質灯油、不純灯油を使用してしまった場合

デジタル表示部にエラー表示



▣油タンクの据付けの確認

油タンクの据付け・接続は販売店・工事店が火災予防条例などに基づき実施しますが、据付工事完了後お客さまご自身でもご確認ください。……34ページ

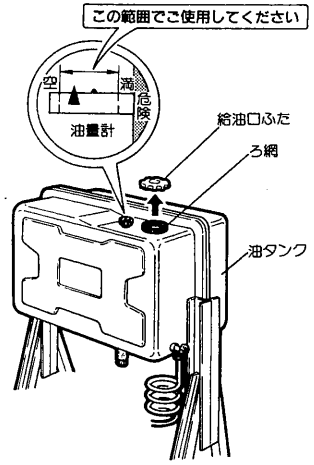
給油 ⚠警告 ガソリン厳禁

■給油の手順

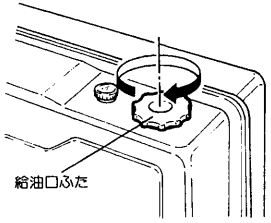
空になる前に灯油を入れてください。
(空になると配管途中に空気がたまって、油が流れません)

1 油タンクの給油口ふたをはずす。

2 給油口についている「ろ網」の上からこぼさないように灯油を入れる。



3 給油口ふたを確実に閉める。



[お願い]	万一、こぼれた場合はよくふきとってください。

運転開始前の準備

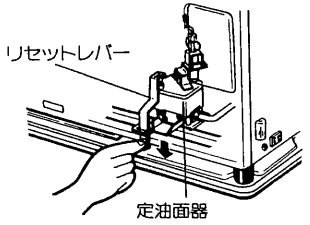
■定油面器のセット

1 パネルを手前に引いてはずす。

2 定油面器のリセットレバーを1回下げる。

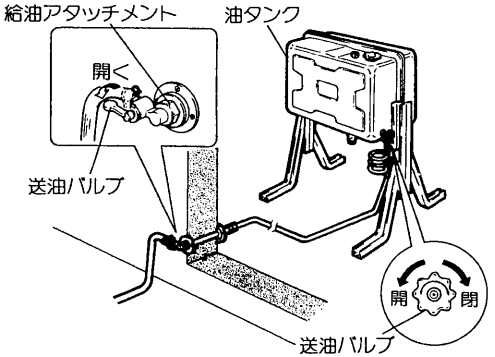
3 リセットレバーが元の位置に戻っているか確認する。

4 パネルを元にもどす。

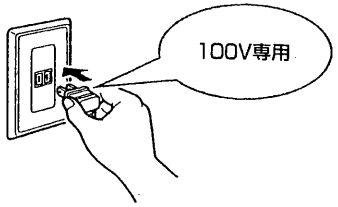


[お願い]	シーズン初めや本体に強い振動が加わり運転停止した後、また、灯油確認ランプが点滅した後で再運転するときは、リセットレバーをもう一度下げてください。

■油タンクの送油バルブと給油アタッチメントの送油バルブを開く



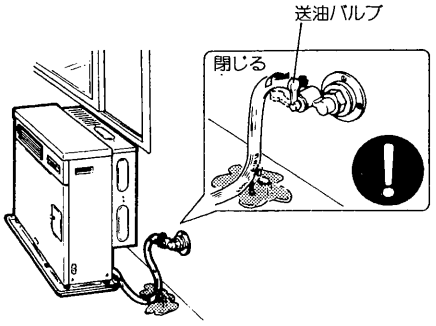
■電源プラグをコンセントに差し込む



運転開始前の確認

■製品や配管から油漏れがないか確認してください。

万一、油漏れしている場合は送油バルブを閉じて、必ずお買上げの販売店に修理依頼、またはお近くの三菱電機お客さま相談窓口にご相談ください。



4 使用方法(1)

基本の取扱い〈設定温度22℃自動運転方法〉

クリーンヒーターは運転スイッチを押すだけで設定温度22℃の自動運転をしますので、次の手順に従って運転してください。

●運転開始

（運転スイッチはゆっくり押して「入」にしてください。早く押すと誤動作し、運転しない場合があります。）

		ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1	電源プラグをコンセントに差込む		－－ 設定温度／時　－－ 室内温度／分	現在時刻
2	操作ドアの錠を開ける		－－ 設定温度／時　－－ 室内温度／分	現在時刻
3	運転切換スイッチを「個別」に切換える	運転切換 集中管理 ↑ ↑ 個別	－－ 設定温度／時　－－ 室内温度／分	現在時刻
4	運転スイッチを押し「入」にする ●約7分後に温風が出ます。	運転スイッチ 入 切	22 設定温度／時　10 室内温度／分	運転ランプ 温　度
5	やがて室内温度を自動的に22℃に保ちます。		22 設定温度／時　22 室内温度／分	運転ランプ 温　度

こんなときは故障ではありません

★運転開始した後や運転中、あるいは運転停止した後にも**金属音がすることがあります。**これは燃焼部分の金属が膨張、収縮するときの音で異常ではありません。

★購入して初めて運転されたときは、温風吹出口から煙やにおいが出ることがありますが、これは燃焼器に付着した油やほこりが焼けるためです。2～3日でなくなりますので部屋の換気をしながらご使用ください。

★新築家屋の場合は暖房することによって建材から異臭を放つことがあります。このような場合は臭気がなくなるまで部屋の換気をしながらご使用ください。

★室内温度表示は「0」～「35」の範囲で表示されます。ただし、室内温度が0℃未満のときは「L」、35℃を越えるときは「H」が表示されます。

★室内温度表示が設定温度(22℃)より高いときは燃焼しません。

★運転中、停電があった後は表示部に「E－00」が表示されますので、運転スイッチを押しなおしてください。

●運転停止

		ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1	運転スイッチを押し「切」にする ●温風はしばらくすると自動的に止まります。	運転スイッチ 入 切	－－ 設定温度／時　－－ 室内温度／分	運転ランプ 現在時刻

●温風は一度停止してもしばらくして、再度出る場合がありますが異常ではありません。

[お願い] ●電源プラグは送風が停止してから抜いてください。

●お出かけになるときは必ず消火してください。
運転スイッチを「切」にしてください。

4 使用方法(2)

集中管理による運転

VKB-1001B₂はシステム部材の集中管理システムの親機・子機と週間プログラムタイマーを下表のように組合わせることによって集中管理システム運転ができます。

組合わせるシステム部材	VCL-15M(親機) VCL-02SK(子機)	VCL-32MK(親機) VCL-01SK(子機)	VCL-32MK(親機) VCL-01SK(子機) VCL-32WT(週間プログラムタイマー)

●運転開始

(集中管理運転する場合はシステム部材の取扱説明書に従って行ってください。クリーンヒーターは以下のようにセットしておく必要があります。)

		ボタン・スイッチ操作	表示部	ランプ
1	電源プラグをコンセントに差込む		設定温度／時 室内温度／分	現在時刻
2	操作ドアの錠を開ける		設定温度／時 室内温度／分	現在時刻
3	運転切換スイッチを「集中管理」に切換える	運転切換 集中管理 個別	設定温度／時 室内温度／分	現在時刻
4	運転スイッチを押し「入」にする	運転スイッチ 入 切	設定温度／時 室内温度／分	現在時刻

以下の操作は、システム部材の取扱説明書に従って行ってください。

●集中管理運転の場合

- クリーンヒーターの表示部には「設定温度」と「室内温度」が表示されます。
  設定温度を変えるときやセーブ運転をするときは、クリーンヒーターのボタン・スイッチを操作してください。(14、15ページ参照)
- モード切換ボタンを押しても「現在時刻」「点火タイマー」「消火タイマー」モードには切換えできません。
  タイマー運転は週間プログラムタイマー(システム部材)などにより行ってください。

応用の取扱い(こんな使いかたができます)

操作ドアを開けて行います。

●室温の調節(設定温度を変えたいとき)

		ボタン・スイッチ操作	表示部	ランプ
1	運転スイッチを押し「入」にする	運転スイッチ 入 切	22 設定温度／時 10 室内温度／分	運転ランプ 温度
2	「温度」ランプが点灯しているか確認する 点灯していない場合はモード切換ボタンを押して「温度」ランプを点灯させる	モード切換	22 設定温度／時 10 室内温度／分	温度
3	「上がる」または「下がる」のボタンを押してご希望の温度にセットする ●「8」～「30」の範囲でセットできます。	室温調節/時刻・時間調節 上がる 分送り	20 設定温度／時 10 室内温度／分	温度

[お願い] ●温度調節は一度セットすれば記憶していますが、電源プラグをコンセントから抜いたときや停電のときは再度室温調節をやりなおしてください。

こんなときは故障ではありません

★室内温度表示の数字は設置条件などにより必ずしも室内温度(他の温度計の表示など)と一致しません。室内温度の目安としてください。

4 使用方法(3)

●セーブ運転のしかた

設定温度表示と室内温度表示とが同一温度になってから30分後に室内温度を1℃下げ、さらに30分後に1℃下げ、燃料を節約します。

運転

		ボタン・スイッチ操作	表示部	ランプ
1	運転スイッチを押し「入」にする	運転スイッチ 入 切	22 設定温度／時　10 室内温度／分	運転ランプ 温度
2	セーブ運転スイッチを押し「入」にする	セーブ運転 入 切	22 設定温度／時　10 室内温度／分	セーブ運転

※セーブ運転は「点火タイマー」運転中、「消火タイマー」運転中でもセットすることができます。
※セーブ運転中、室内温度表示が変わっても設定温度表示は変わりません。
※セーブ運転中に設定温度を変更したときは変更した設定温度でセーブ運転をします。

[お願い]
- セーブ運転は一度セットすれば記憶していますが、電源プラグをコンセントから抜いたときや停電のときは再度セーブ運転をしなおしてください。
- 室内温度表示の数字は設置条件などにより必ずしも室内温度(他の温度計の表示など)と一致しません。室内温度の目安としてください。

停止

		ボタン・スイッチ操作	表示部	ランプ
1	セーブ運転スイッチを押し「切」にする	セーブ運転 入 切	22 設定温度／時　20 室内温度／分	□ セーブ運転

●時刻合わせのしかた

(「時送り」・「分送り」ボタンを押し続けると表示が連続して変わります。)

現在時刻をセットしてください。

		ボタン・スイッチ操作	表示部	ランプ
1	運転スイッチを押し「入」にする	運転スイッチ 入 切	22 設定温度／時　10 室内温度／分	運転ランプ 温度
2	モード切換ボタンを押して「現在時刻」ランプを点灯させる ●午前「12:00」が点滅します。	モード切換	12 設定温度／時　00 室内温度／分 (点滅)	現在時刻 午前
3	「時送り」・「分送り」ボタンを押して時刻を合わせる ●1～12時までの午前・午後をくり返しで表示します。 ●0～59分までの表示です。	室温調節/時刻・時間調節 ↔ 上がる 分送り	6 設定温度／時　12 室内温度／分	午後
4	運転スイッチを「切」にした場合でも、現在時刻は表示されます。	運転スイッチ 入 切	6 設定温度／時　12 室内温度／分	現在時刻 午後

[お願い]
- 時刻合わせは一度セットすれば記憶していますが、電源プラグをコンセントから抜いたときや停電のときは、再度時刻合わせをやりなおしてください。

4 使用方法(4)

●「点火タイマー」運転のしかた

●現在時刻がセットされていないと「点火タイマー」運転ができません。(16ページ参照)

		ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1	運転スイッチを押し「入」にする	運転スイッチ 入 切	22 設定温度／時　10 室内温度／分	運転ランプ 温　度
2	モード切換ボタンを押して「点火タイマー」ランプを点灯させる ●午前「5:00」が点灯します。	モード切換	5 設定温度／時　00 室内温度／分	点火タイマー 午　前
3	「時送り」・「分送り」ボタンを押して希望の時刻にセットする ●1～12時までの午前・午後をくり返しで表示します。 ●0～59分までの表示です。		7 設定温度／時　15 室内温度／分	午　前
4	その時刻になると自動的に運転を開始し、「点火タイマー」ランプおよび「点火タイマー」セット時間が消え「温度」ランプが点灯します。		22 設定温度／時　10 室内温度／分	温　度

※燃焼中に「点火タイマー」にセットしますと、その時点で燃焼が停止します。

●「点火タイマー」セット後に暖房したいとき

●モード切換ボタンを押して「温度」ランプを点灯させます。(暖房を開始)

●その後「点火タイマー」を使用するときにはモード切換ボタンで「点火タイマー」モードに切換えます。

●毎日同時刻に「点火タイマー」運転するには

タイマー時刻は一度セットすれば記憶されますので、以下の方法で行います。

●モード切換ボタンを押して「点火タイマー」ランプを点灯させます。

●設定時刻を変更される場合は、「点火タイマー」運転のしかたに従ってやりなおします。(17ページ参照)

●「消火タイマー」運転のしかた

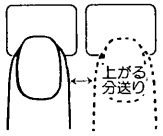
現在運転していて自動的に暖房を切りたいときに使用します。

●「消火タイマー」運転中は消火するまでの時間を1分ごとに表示します。

		ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1	モード切換ボタンを押して「消火タイマー」ランプを点灯させる ●「1:00」が点灯します。	モード切換	1 設定温度／時　00 室内温度／分	消火タイマー
2	1時間後に自動的に運転停止します。		0 設定温度／時　FF 室内温度／分	消火タイマー 運転ランプ
3	次に運転するときは運転スイッチを押しなおして「入」にする ●「OFF」表示はなくなり、「消火タイマー」セット時間が表示され、再び「消火タイマー」運転になります。	運転スイッチ 入 切	1 設定温度／時　00 室内温度／分	消火タイマー 運転ランプ

4 使用方法(5)

●消火するまでの時間を1時間から変えたいとき

	ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1 「上がる」・「下がる」ボタンを1回押すごとに15分単位で時間が変わる ●最低セット時間は15分です。 ●最高12時間までセットできます。	室温調節・時刻・時間調節 	1 00 設定温度／時　室内温度／分 ↓ 0 45 設定温度／時　室内温度／分 ⋮ 0 15 設定温度／時　室内温度／分 （「下がる」ボタンを押した例です）	消火タイマー

※「消火タイマー」運転中に時間を変えたときは、表示時間の近くの15分単位の時間に変わります。

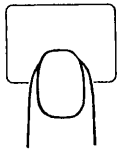
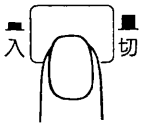
〔例〕「0：17」のときに「上がる」ボタンを押すと「0：30」に変わります。
「0：17」のときに「下がる」ボタンを押すと「0：15」に変わります。

停電のときはタイマー運転ができません

●停電があったときは、再度通電してもタイマー運転しません。「設定温度」表示、「現在時刻」、「点火タイマー」時刻、「消火タイマー」時間のセットは解除されて表示部に「E－00」が表示されますので再度運転スイッチを押しなおして「設定温度」、「現在時刻」、「点火タイマー」時刻、「消火タイマー」時間をセットしてください。（14～18ページ参照）

●「点火タイマー」と「消火タイマー」を同時にセットするには

●「点火タイマー」セット時刻に自動的に運転を開始し、「消火タイマー」セット時間に自動的に運転を停止することができます。
●「現在時刻」、「点火タイマー」時刻、「消火タイマー」時間を合わせないと運転できません。（16～18ページ参照）

	ボタン・スイッチ操作	表　示　部	ランプ
1 モード切換ボタンを押して「点火タイマー」と「消火タイマー」両方のランプを点灯させる ●表示部は「点火タイマー」セット時刻を表示します。	モード切換 	7 15 設定温度／時　室内温度／分 （点火時刻）	点火タイマー 消火タイマー
2 セット時刻になると自動的に運転を開始します。 ●表示部は「消火タイマー」セット時間を表示します。		2 00 設定温度／時　室内温度／分 （「消火タイマー」時間）	点火タイマー 消火タイマー
3 セット時間になると自動的に運転を停止します。		0 FF 設定温度／時　室内温度／分	点火タイマー 消火タイマー
4 次に運転するときは運転スイッチを押しなおして「入」にする ●「OFF」表示はなくなり、「点火タイマー」セット時刻を表示し、再び「点火タイマー」「消火タイマー」の同時運転になります。	運転スイッチ 	7 15 設定温度／時　室内温度／分	点火タイマー 消火タイマー

4 使用方法(6)

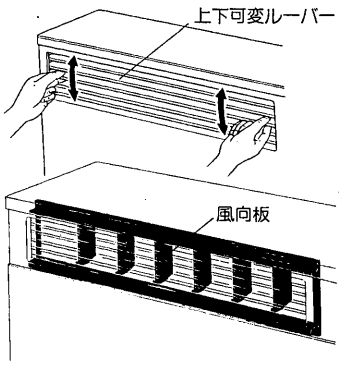
風向き調節のしかた

■風向きを上下・左右に変えることができます。
運転する前に行ってください。

- 上下可変ルーバーを動かします。
- 上下可変ルーバーの奥にある風向板を棒状のもの(ドライバーなど)で左右に動かします。

[お願い]

- 運転中は温風吹出口が熱くなりますので、変えるのはやめてください。



5 安全装置

●安全装置が作動したときは28ページを参照し、処置してください。

対震自動消火装置

●使用中、強い地震・衝撃を受けたときは、すぐに自動消火し、「対震装置」ランプが点滅してピッピッと音が鳴ります。

過熱防止装置

●使用中、エアーフィルターにほこりがつまり、温風の量が少なくなって、ストーブ内部が過熱しかけると「フィルター」ランプが点滅します。さらに温度が高くなると、過熱防止装置が作動して運転を停止し、ピッピッと音が鳴ります。このような場合には、エアーフィルターの清掃(25ページ参照)を行ってください。
〈清掃を行う場合は、運転スイッチを「切」にしてから行ってください。運転スイッチを「切」にしないで清掃を行うとランプの点滅は解除されません。〉

●温風吹出口がふさがれるなど、ストーブ内の温度が高くなった場合には、過熱防止装置(オートカット)が作動し運転を停止します。

点火安全装置・燃焼制御装置

●点火不良、燃焼不良、燃料切れなどのとき、安全装置が働き運転を停止し、ピッピッと音が鳴ります。

停電安全装置

●運転中に停電したときは自動的に運転を停止します。

6 その他の装置

●その他の装置が作動したときは使用を中止し、お買い求めの販売店へご連絡ください。

異常過熱防止装置

●過熱防止装置が作動せずさらにストーブ内の温度が異常に高くなった場合は、異常過熱防止装置（温度ヒューズ）が作動し、運転を停止します。

異常着火検知装置

●異常に大きな音をたてて着火した場合には、安全装置が働き運転を停止します。

排気筒外れ検知装置

●排気筒の接続部が外れると運転を停止し、「排気検知」ランプが点滅してピッピッと音が鳴ります。

7 日常の点検・手入れ(1)

日常の点検・手入れにあたっては、次のことを必ず守ってください。

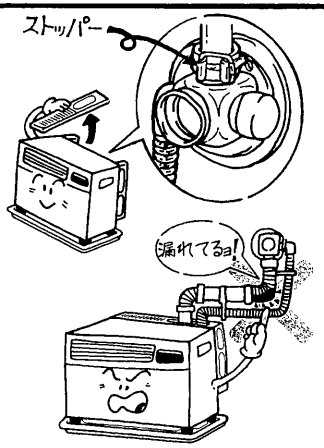
●必ず運転スイッチを「切」にしてストーブの運転を停止し、ストーブが冷えた状態で行ってください。

シーズンはじめ

❶給気ホース・排気筒の点検

①給気ホース、排気筒が正しくしっかりつながっているか、また接続箇所がストッパーで固定されているか、ドライバーで背面カバーを外して確認してください。

②延長配管の場合は排気筒にシミができていないか点検してください。



排ガスが室内に漏れますと一酸化炭素中毒のおそれがあり、大変危険です。
万一外れやシミがあったり、破損していたらただちに使用をやめてお買い求めになった販売店に修理依頼してください。

❷移動する場合のご注意

畳替え、じゅうたんの張り替えなどで本体をいったんずらす場合や、収納したのち再使用する場合はお買い求めになった販売店に据付けを依頼してください。
また転居されたときは三菱電機お客さま相談窓口（連絡先は同梱の一覧表をご覧ください）にご相談ください。移動する場合、排気筒接続部のOリング（ゴムパッキン）は、キズ付変形等により排ガスが漏れる原因となりますので、すべて交換します。

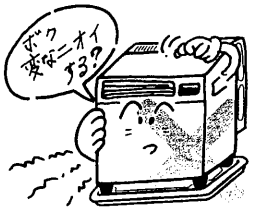
❸給排気筒トップ周囲の点検

給排気筒トップがクモの巣やビニールの袋などでふさがれていないか点検してください。
ふさがれている場合は取除いてください。

7 日常の点検・手入れ(2)

使用のたびに

❶排ガスのにおいや目がチカチカしませんか。

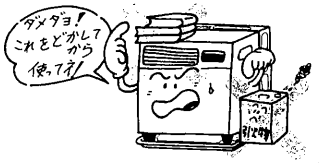


●排ガスのにおいや目がチカチカする場合は、排気筒や接続部(Oリング部)から排ガスが漏れていることが考えられます。(一酸化炭素中毒のおそれがあり、非常に危険です。)ただちに使用をやめてお買い求めになった販売店に修理依頼、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口にご相談ください。

❷油漏れ・油のたまり・油のにじみ

●ゴム製送油管や置台に油漏れ、油だまり、油のにじみがないか点検してください。
油が漏れてたまっている場合はお買い求めになった販売店に修理依頼、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口にご相談ください。

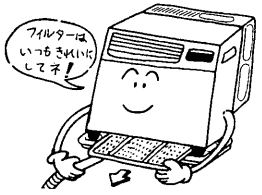
❸周囲の可燃物の点検



●ストーブの上や周囲に可燃物を置かないでください。
●給排気筒トップの周囲に可燃物、引火物を置かないでください。

「フィルター」ランプが点滅したら

❶エアーフィルターの掃除

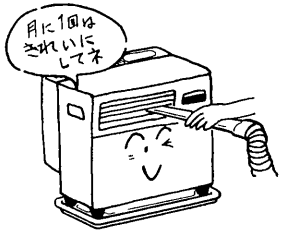


「フィルター」ランプが点滅したら、エアーフィルターを図のように取外して、掃除機などでほこりを取除いてください。

●温風吹出口から風が出ていないことを確認してから行ってください。
送風中に行うとストーブ内部にほこりが入ることがあります。

1ヶ月に1回以上

❶本体・温風吹出口の掃除

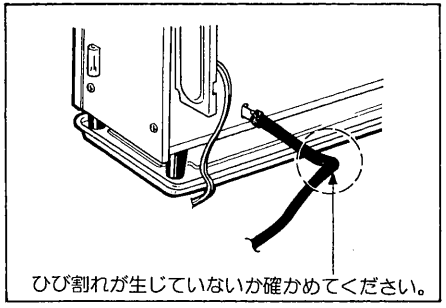


①温風吹出口のほこりを、掃除機などで吸いとってください。
②本体ケース、置台、温風吹出口などが油やほこりなどで汚れたときは、乾いたやわらかい布などできれいにふきとってください。また前パネルの汚れは中性洗剤などでふいてください。

1シーズンに2~3回

❶ゴム製送油管の点検

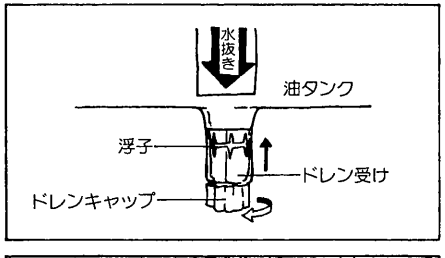
ゴム製送油管にひび割れが生じていないか確かめてください。ゴム製送油管は経年劣化しますので、**3年に1度新しいゴム製送油管に交換してください。**ひび割れが生じている場合や交換のときは、お買い求めになった販売店に修理依頼、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口にご相談ください。

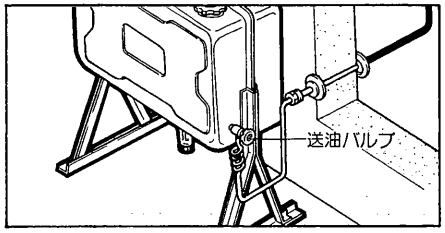

ひび割れが生じていないか確かめてください。

❷油タンクの水抜き

油タンク内に水が入りますと、ドレン受け内の浮子が浮き上りますので、水抜きをしてください。

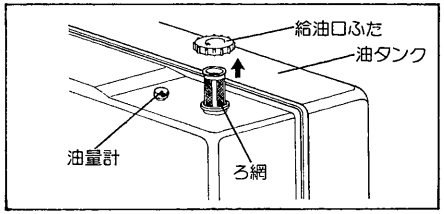
①送油バルブを「止」にします。
②ドレン受けの下に4ℓ以上の容器を置き、ドレンキャップを回してゆるめ、たまった水を抜きとってください。
●ドレンキャップは取外さないでください。
③水抜きが終わりましたらドレンキャップを元どおりに締めてください。
④浮子がしずんでいるか確認してください。





❸給油口ろ網の清掃

「給油口ろ網」を油タンクの給油口から取出して、きれいな灯油ですすぎ洗いをしてください。
(水で洗わないでください。)



8 定期点検

定期点検が必要です

三菱密閉式石油ストーブ「クリーンヒーター」は使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品がありますので、専門技術者〔㈶日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2930)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)または技術講習会修了者(点検整備士)〕のいる店などで定期点検を受けてください。

●定期点検の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検を受けてください。
ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ(例えば、厨房室や製綿工場など)、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の点検が必要となりますのでお買い求めになった販売店にご相談ください。

★定期点検

定期点検は専門の技術者が、設置状態、給排気まわりの点検・安全装置及び運転動作の点検・確認、使用時間により消耗劣化しやすい部品の点検等を行います。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

★お申し込み先

お客さま➡お買い求めになった販売店、または最寄りの三菱電機サービスセンター

★定期点検費用

定期点検の費用についてはお買い求めの販売店にご相談ください。
定期点検の結果、故障・部品の劣化が発見され修理または交換が必要と判断された場合は、別途ご相談申しあげます。

●定期点検の内容

	定期点検の内容	項目
1	設置状態、給排気まわりの点検・確認	●製品の設置・使用状態 ●送油経路部の油漏れ ●給排気筒の接続とつまり ●給排気筒トップのつまり
2	安全装置、及び運転動作の点検・確認	●安全装置の働き ●運転動作の点検 ●操作部品や動く部品の働き
3	環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	●給排気系部品、電気接点部品などの点検 ●点火電極、炎検知器などの点検 (劣化の状態により交換の場合もあります)
4	製品の清掃・整備	●本体内 ●油タンクの水抜き ●温風吹出口

地震などの災害が発生したときの点検について

★地震などにより製品に振動、衝撃が加わったときは、運転をする前に必ず次の点検を実施してください。
点検内容
●給排気回りの外れ、漏れの確認　●灯油配管からの漏れ確認

★点検で異常がみつかったときや点検したのち使用しているとき排ガスのにおいがしたり、目がチカチカするときは使用を中止して販売店に修理依頼するか、最寄りの三菱電機サービスセンターへ修理依頼してください。

9 故障・異常の見分けかたと処置方法(1)

故障・異常早見表

異常が生じた場合は、下表を参照して、お客さま自身で処置してください。

	現象 / 原因	燃焼しない。途中で消火する。音をたてて燃える。 運転ランプが点灯しない	フィルターランプが点滅する	対震装置ランプが点滅する	表示部にE-00を表示する	表示部にE-01を表示する	処置	参照ページ
1	電源プラグがコンセントから抜けている	●					電源プラグをコンセントに確実に差込む	11
2	停電があった				●		運転スイッチを押しなおす	11
3	油タンクに油がない					●	給油する	9
4	定油面器がセットされていない					●	定油面器をセットする	10
5	油タンクに水が入っている					●	油タンクの水抜きをする	26
6	温風吹出口がしゃ閉されている		●				温風吹出口のしゃ閉物を取除く	1
7	エアーフィルターにほこりがつまっている		●				エアーフィルターを清掃する	25
8	対震自動消火装置が作動した			●			P27「地震などの災害が発生したときの点検について」の点検項目を確認し運転スイッチを押しなおす	22
9	給排気筒トップの先端がふさがっている					●	給排気筒トップ先端のしゃ閉物を取除く	24

以上の方法で点検し、処置してもなおらないときは、使用を中止し、お買い求めの販売店に修理依頼、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口へご相談ください。
修理をお申しつけのときには故障の内容をできるだけ詳しく、また表示部に表示されるエラーモード(故障・異常状態)をご連絡ください。
※表示部にE-06の表示が出たら、電源プラグをコンセントに差込みなおしてください。
差込みなおしても、まだE-06の表示が出る場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

9 故障・異常の見分けかたと処置方法(2)

こんな症状のときは使用を中止し販売店にご連絡ください。

使用される場所や条件、または長期間の使用により、下記のような症状が見られる場合には、使用を中止して、必ずお買い求めの販売店に修理依頼、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口へご相談ください。

症　　状	予 測 さ れ る 故 障
燃焼確認窓が「すす」で汚れて炎が見えにくい。	燃焼が不完全になっているおそれがあります。
運転開始しなかったり、使用途中で火が消えることがたびたびある。	部品が故障しているおそれがあります。
運転開始時や使用中に「ボーン」という大きな音がする。	異常着火検知装置が作動し、運転を停止します。 運転スイッチを「入」にしても再運転できません。 機器を損傷したり、部品が故障しているおそれがあります。
排ガスのにおいがしたり、目がチカチカする。	排ガスが漏れているおそれがあります。 ●排ガスが室内に漏れますと、一酸化炭素中毒のおそれがあり非常に危険です。
排気検知ランプが点滅する。	排気筒外れ検知装置が作動し、運転を停止します。 運転スイッチを「入」にしても再運転できません。 排気筒が外れているおそれがあります。

表示部にこんな表示が出たら販売店までご連絡ください

E-02　E-03　E-04　E-05　E-07
E-08　E-13　E-14　E-95

10 部品交換のしかた・11 保管(長期間使用しない場合)

部品交換のしかた

経年により消耗、劣化しやすい部品があります。
異常かなと思われましたら、お買い求めの販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口にお問い合わせください。
専門技術者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)または技術講習会修了者(点検整備士)〕のいる店などで修理いたします。不完全な修理は危険です。

●消耗、劣化しやすい部品

項　　目	内　　容
使用時間により交換が必要な部品	各種パッキン、排気筒接続用Oリング(JIS B 2401-4種D P39)、バーナーヘッド、点火電極、炎検知器（フレームロッド）など
不良灯油の使用により劣化しやすい部品	オイルフィルター、定油面器、バーナー、電磁ポンプ、燃焼系部品、熱交換器、給排気系部品など
環境により劣化しやすい部品	給排気系部品、電気接点部品など

保管(長期間使用しない場合)

長期間使用しないとき(シーズン終了時)は、
次の要領でお手入れしてください。

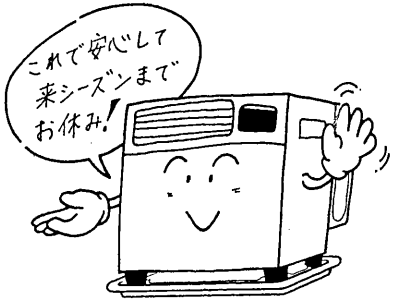
1 電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 本体、エアーフィルター、温風吹出口の掃除をしてください。(25ページ参照)

3 油タンクの送油バルブを「閉」にしてください。

4 ストーブ内部の清掃は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。

5 ストーブは取外さないでください。
- どうしても取外して保管するときは湿気やほこりの少ないところに保管してください。
次シーズンに据付けるときには必ずお買い求めになった販売店に依頼してください。



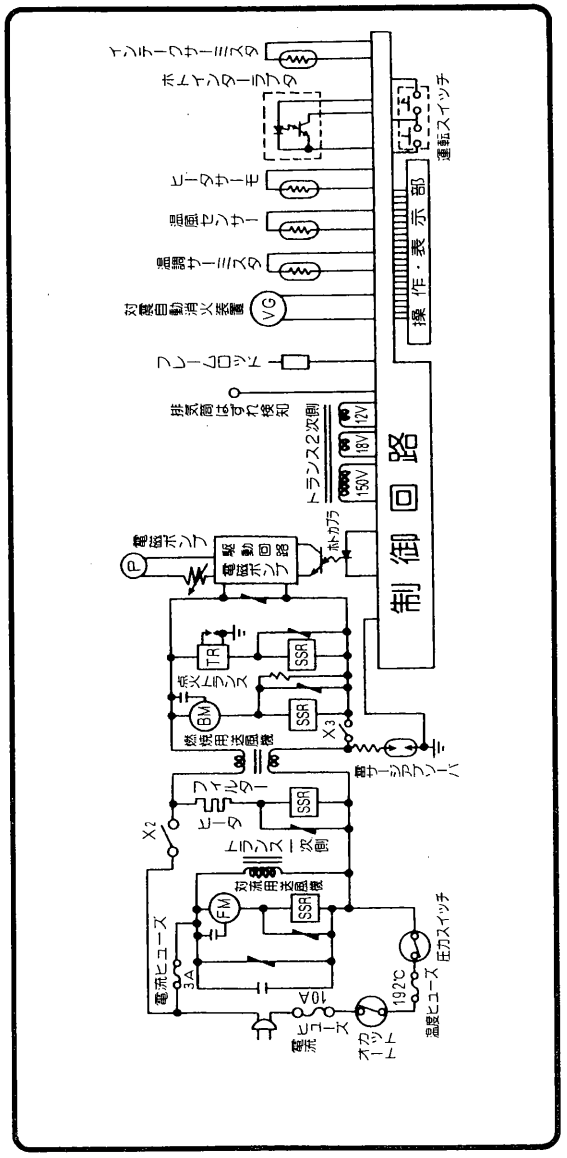
12仕 様

仕様一覧表

形式の呼び		VKB-1001B２(VKB-1001B)	
種類		回転霧化式・強制対流形・強制給排気形	
点火方式		高圧放電点火・自動点火	
燃料		灯油(JIS１号灯油)	
暖房出力		35600kJ/h(8500kcal/h)、9.88kW	
発熱量および熱効率	最大	38548kJ/h(9200kcal/h)93%	
	最小	25225kJ/h(6020kcal/h)93%	
燃料消費量	最大/最小	1.11/0.73ℓ/h	
暖房のめやす	温暖地	木造25畳(41.5㎡)まで	コンクリート33畳(54.5㎡)まで
	寒冷地	木造26畳(43.0㎡)まで	コンクリート40畳(66.0㎡)まで
外形寸法（置台を含む）		高さ628mm(最大643mm)、幅925mm、奥行383mm	
質量		44kg	
電源電圧および周波数		100V 50/60Hz	
定格消費電力	最大消費電力	(点火時)575/585W	
	燃焼時消費電力	65/77W	
給排気筒呼び径		D34	
給排気筒壁貫通部孔径		80mm	
排気温度		260℃以下	
電流ヒューズ		電流ヒューズ 10A・100V	
温度ヒューズ		192℃	
安全装置		対震自動消火装置・過熱防止装置・点火安全装置・燃焼制御装置・停電安全装置	
その他の装置		異常過熱防止装置・異常着火検知装置・排気筒外れ検知装置	
附属品		●給排気筒トップ 1個	●背面カバー取付ネジ 4本
		●置台 1個	●壁固定金具 3組
		●給排気筒トップ取付ネジ 3本	●床固定金具 2個
		●チャンバー室固定ネジ 3本	●壁固定金具取付ネジ・ストーブ側 6本
		●排気筒外れ検知リード取付ネジ 1本	●壁固定金具取付ネジ（5×10） 3本
		●歯付座金 1枚	●床固定金具取付ネジ・黒 4本
		●給気ホースバンド 1個	●固定金具取付ネジ 木ネジ10本
		●コードバンド 2本	●C形ストッパー・A 1個
		●背面カバー 1組	●C形ストッパー・B 1個
		●背面カバー取付ネジ・黒 2本	●ジョイントパイプ 1個
			●ゴム製送油管(締付金具2個付) 1本
その他の機能		運転ランプ遠隔表示・アース端子付プラグ	

※その他の機能についてはお買い求めになった販売店にご相談ください。

結線図



13 据付け工事の確認と試運転(1)

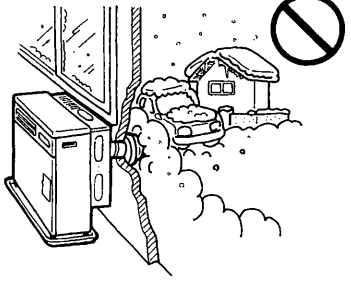
据付け場所の選定

ストーブの据付けは販売店・工事店が火災予防条例などに基づき実施していますが据付工事完了後、販売店・工事店とともにお客さまご自身でもご確認ください。

⚠警告

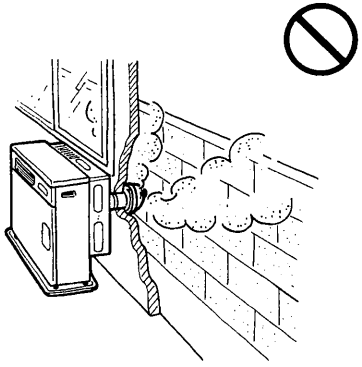
積雪の多い地方では、給排気筒トップが雪でふさがれないように注意してください。

厳寒地域では給排気筒トップにつららがつくことがありますので注意してください。

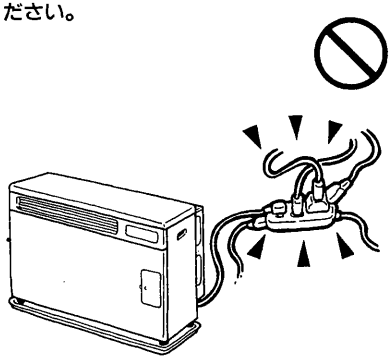


[お願い]

排気ガスがよどまないか確認してください。
排気ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。

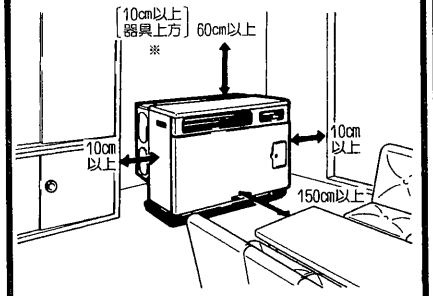


タコ足配線で使わないでください。
電源コンセント(単相100V)は専用でお使いください。



ストーブと周囲との距離

ストーブを据付ける場合は、石油燃焼機器の設置基準(財団法人日本石油燃焼機器保守協会)で決められている下図の可燃物との距離が必要です。
アフターサービス、定期点検、更に給排気回りの点検を行うためにも必要です。

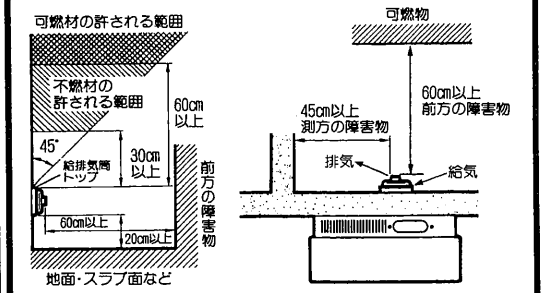


●図( )内寸法による据付方法は、防火性能評定委員会で評定承認されたものです。

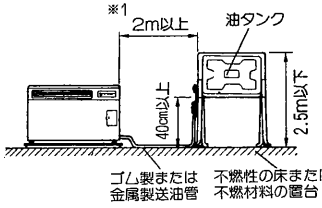
上 方	側 方	前 方	後 方
10cm	10cm	150cm	10cm

※給排気筒トップ接続工事のため30cmが必要です。

●点検手入れのため左右いずれかは30cm以上離してください。



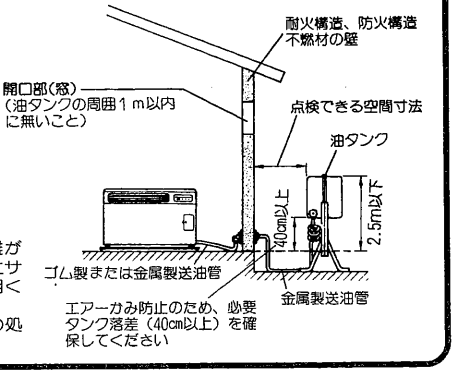
油タンク(200ℓ未満)を屋内に据付ける場合



※1.油温が引火点以上に上昇するおそれのない油タンクは60cm以上とすることができます。

付属のゴム製送油管が短くストーブと油タンクとの離隔路離が確保できなかったり、給油コックに接続できない場合は、当社サービス部品の給油ホース2.5m品(M45508261)をご使用ください。
油タンクはアンカーボルトで床に固定するなど、転倒防止の処置を必ず行ってください。

油タンク(200ℓ未満)を屋外に据付ける場合



13 据付け工事の確認と試運転(2)

据付工事後の確認

据付工事終了後に販売店・工事店とともにお客さまご自身でも下表に基づき点検してください。

点検箇所	点検項目	チェック結果
製品	製品の回りは必要な空間がありますか。	
	床面の不安定な場所に据付けてありませんか。	
	丈夫な床面に製品が固定してありますか。	
	製品・ゴム製送油管から油漏れはありませんか。	
	ゴム製送油管を屋外で使用していませんか。(屋外は金属配管)	
	ゴム製送油管が排気部品に触れていませんか。	
油タンク	油タンクや送油管から油漏れはありませんか。	
	油タンクの据付けは基準寸法が守られていますか。	
給排気部品	給排気筒トップの周囲は基準方法が守られていますか。	
	排気筒に給気ホースやカーテンなど、燃えやすいものが接触していませんか。	
	給排気筒のはずれ・ゆるみがありませんか。	
	排気ガスが屋外へ排気されるようになっていますか。	
	給排気筒トップの取付けが屋外に向って下り勾配になっていますか。	
	給排気筒トップの周囲に障害物(樹木・愛がん動物・雪のふきだまり)はありませんか。	
	給排気筒トップの周囲に危険物(灯油・ガソリン・プロパンガス)はありませんか。	
	トップフードが必ず取付けられていますか。	
	トップフードの給気口・排気口が異物でふさがっていませんか。	
	集合煙突に給排気筒を取付けた工事はされていませんか。	
延長工事	床下・天井裏へ給排気してありませんか。	
	壁埋込みの配管工事はしてありませんか。	
	排気筒の長さは給気ホースに比べ極端に長くなっていませんか。	
	給気ホース・排気筒の長さは3m以内で曲がり数3箇所以内ですか。	
	排気筒の途中に水がたまるようなへこみ部はありませんか。	
	排気筒の延長立上げ寸法は1.8m以下になっていますか。	
電気配線	電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか。	
	電源コードは高温部に触れていませんか。	
	電源コンセントは電源プラグの抜き差しが容易な位置にありますか。	
排気筒はずれ検知リード	排気筒はずれ検知リードは、給排気筒トップに接続されていますか。	
	排気筒はずれ検知リードは、給気ホースにそって固定されていますか。	

上記が守られていないと火災・不完全燃焼などをおこすおそれがありますので、販売店・工事店に正しい処置をご依頼ください。

試　運　転

試運転は、販売店と立合いで行ってください。
運転手順、異常時の処置方法について販売店より説明を受けてください。

運転準備

●油タンクに給油してください。(9ページ参照)
●油タンク及び給油アタッチメントも送油バルブを「開」にします。
●油タンクや送油管・ゴム製送油管から油漏れがないか確認してください。
●定油面器のリセットレバーを下へ1回下げてください。元の位置に戻ることを確認します。(10ページ参照)
●電源プラグをコンセント(単相100V)に確実に差し込みます。

運　転

■運転切換スイッチを「個別」に切換え、運転スイッチを押してください。(11ページ参照)
　●運転ランプが点灯します。
　●スイッチを押してから約7分後に温風が出ます。
■運転スイッチを押して「切」にしてください。(12ページ参照)
　●運転ランプが消え、運転停止します。

[お願い]

●室内温度が30℃ある場合は「上がる」ボタンを5秒以上押し続けてください。
　表示部の設定温度が「H」表示になり10分間連続燃焼します。(10分経過後、設定温度は30℃になります。)

■初期運転時の異常現象
　●初期運転時、および燃料切れで給油後の運転の際にボッボッと音をたてて燃焼することがありますが、故障ではありません。

■正常運転の目安
　●正常運転の目安として28ページのような現象がないことを確認してください。

集中管理システム運転の場合

■ストーブの動作確認後、運転切換スイッチを「集中管理」に切換えてください。
■親機による運転操作は、親機に付属の「取扱説明書」に従ってください。
■運転スイッチを押して「切」にしてください。
　●親機からの停止方法は、親機に付属の「取扱説明書」に従ってください。

14 保証とアフターサービス

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は右一覧表で
●修理のご相談は　「修理相談窓口」へ
●その他のお問い合わせは「一般相談窓口」へ

保証書(別添付)について

■保証書は、必ず「お買上げ日・販売名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間…お買上げ日から1年間。
（ただし、燃焼器部分については3年間です。）

補修用性能部品の最低保有期間は

■クリーンヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後7年間です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。
■性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

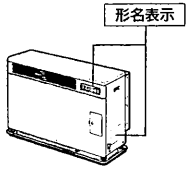
「故障かな?」と思ったら(28~29ページ)にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、運転スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は
修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

■保証期間がすぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料＋部品代(出張料)などで構成されています。

■ご連絡いただきたい内容

1.品名クリーンヒーター
2.形名
3.お買上げ年・月・日
4.故障内容
できるだけ具体的に
5.住所・名前・電話番号
付近の目印なども



三菱電機お客さま相談窓口一覧表

北海道地区

修理相談窓口

旭川	(0166)26-5580	旭川市曙1条8-1
滝川	(0125)23-0117	滝川市本町1-7-4
北見	(0157)25-7045	北見市柏陽町577-60
釧路	(0154)24-1355	釧路市喜多町2-25
帯広	(0155)35-3111	帯広市西13条北4-1-13
室蘭	(0143)45-5781	室蘭市東町1-17-19
苫小牧	(0144)55-1114	苫小牧市明野新町2-1-18
札幌	(011)221-8951	札幌市中央区北2条東13-25
小樽	(0134)33-3380	小樽市色内2-2-11
函館	(0138)49-0345	函館市西桔梗町589-57

一般相談窓口

北海道本部 (011)893-1313 札幌市厚別区大谷地東2-1-11

東北地区

修理相談窓口

青森	(0177)73-8381	青森市大字野木字野尻37-184
弘前	(0172)32-6535	弘前市大字青山4-20-3
八戸	(0178)28-8544	八戸市大字長苗代字下亀子谷地6-8
むつ	(0175)22-3277	むつ市横迎町2-11-7
盛岡	(019)637-7454	盛岡市羽場13地割30-11
水沢	(0197)25-4511	水沢市餅町2-3
釜石	(0193)23-4611	釜石市定内町3-10-1
仙台	(022)238-1773	仙台市若林区大和町2-18-23
気仙沼	(0226)23-8485	気仙沼市田中前2-9-2
石巻	(0225)95-9111	石巻市門脇字四番谷地16-268
古川	(0229)24-3595	古川市米袋字大窪25-1
秋田	(0188)65-4471	秋田市八橋三和町19-36
横手	(0182)32-1785	横手市安田字ブンナ沢80-110
大館	(0186)42-2781	大館市餅田2-5-44
山形	(0236)24-0018	山形市大の目2-1-21
酒田	(0234)22-8533	酒田市北新橋2-14-3
鶴岡	(0235)24-6161	鶴岡市上畑町5-4
米沢	(0238)37-5554	米沢市中田町4776-1
福島	(0245)34-7123	福島市御山字稲荷田47-1
郡山	(0249)59-6543	郡山市喜久田町卸1-76-1
会津	(0242)27-4426	会津若松市天寧寺町3-7
原町	(0244)24-2842	原町市桜井町1-173
いわき	(0246)26-1822	いわき市内郷御台場町鶴巻75-8

一般相談窓口

東北本部 (022)231-8282 仙台市宮城野区日の出町2-2-33

北関東・新潟地区

修理相談窓口

宇都宮	(028)662-0307	宇都宮市平出町3752-4
前橋	(027)265-0511	前橋市後閑町92-1
新潟	(025)274-9165	新潟市竹尾卸新町752-9
長岡	(0258)23-3323	長岡市南陽1-1118-1
上越	(0255)24-1160	上越市大字藤巻字上川原896-7

埼玉県全域 埼玉修理受付センター (048)651-3223 大宮市大成町4-298

一般相談窓口

首都圏本部 (03)3414-9655 東京都世田谷区池尻3-10-3

東関東地区

修理相談窓口

千葉県全域及び茨城県全域 東関東修理受付センター (0471)67-7731 柏市北柏3-14-1

一般相談窓口

首都圏本部 (03)3414-9655 東京都世田谷区池尻3-10-3

S97A

愛情点検

★長年ご使用のクリーンヒーターの点検を!

●クリーンヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

ご使用の際このようなことはありませんか。

- ●排気パイプがはずれている。
- ●臭いがしたり、目がチカチカする。
- ●本体後部の壁がススで汚れている。
- ●燃焼催認窓がススで汚れて炎が見えない。
- ●点火しない。使用中炎がたびたび消える。
- ●運転中に「ボーン」という大きな音がする。
- ●その他の異常・故障がある。

▶ **使用中止** 故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に修理・点検をご相談ください。

形名	VKB-1001B 2
お買い上げ年月日	
お買い上げ店名 (住所) (電話番号)	(　　)

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508 岐阜県中津川市駒場町1番3号